



### 3. 活動内容

(1) 1年間の主な活動内容について記載願います。

○ 人権教育について

1年生で、いじめに関するDVDを鑑賞した後、いじめについて考えた。生徒は、「いじめられたり、嫌なことがあったりしたときは、周りの大人や友人に相談したい。絶対に死んではいけない。生きていることの素晴らしさを学んだ。」「いじめをするのは、ストレスが原因であることが分かったが、それを誰かにあたるといことはいけないことだと思う。」「いじめを見ているだけでもいじめになる。自分は実際にいじめにあっている人を見た時に止めることができるかは、分からないけど、周りの大人に伝えて、いじめがなくなるようにしたいと思った。」など感想をもった。

○ 車椅子体験学習について

2年生で開催をした。車椅子を使用している方を講師とした招き講演を聴いた後、車椅子を使って、障害のある方の視線で校内を巡る体験学習を行ったりした。生徒は車椅子に乗る役や介助する役を交代で行い、自分がふだん何気なく生活をしている場所が、実は車椅子で生活をしている人にとって不便な場所があることを感じるとともに、車椅子で移動するときの怖さを実感し、困っている人に対して声を掛けたり手伝ったりすることの大切さや、誰もが過ごしやすい社会づくりの大切さについて気付くことができた。

○ 視覚障害者体験について

2年生でブラインドウォーク体験を開催した。この体験では、目隠しをし、目が見えない状態で介助者の手を借りながら歩いた。この体験をした生徒の感想には、「少しの段差障害物がこわいと思った。」や「道や階段がやけに長く感じるし、何があるかわからないから、とても不安だった。」というものが多くあった。また、介助者の体験をした人の感想には、「介助するのは難しいと思ったけど、介助される側の気持ちになることが大切で、相手により分かりやすい言葉で説明をすることが大切だと思った。」といった内容のものが多くあった。

○ 盲導犬体験学習について

2年生で開催をした。中部盲導犬協会に依頼をし、生徒は講演を聴き、一部生徒が視覚障害者として盲導犬との体験歩行をした。生徒は、目が見えないことについての不便さや怖さについて知ることができ、視覚障害者の方との接し方について考えるとともに、段差をなくしたり、困っている人のことを考えて接したりするような、誰もが過ごしやすい社会づくりの大切さについて気付くことができた。

○ 職場体験学習について

キャリア教育の一環として行ったが、販売業や飲食店で様々なお客さんの事を考えた商品の陳列方法や接し方等の体験をし、「接客をするということは、相手の事を第一に考え、常に周りに気を遣っていくことが大切であると感じた。」と感想をもつ生徒がいた。また、高齢者福祉施設で高齢者の方との会話や職員の仕事の補助を体験し、「生活に不自由に感じる場面についての話を聞き、どうすればそのことが解消されるのか考えさせられるものであった」と感想をもった生徒もいた。

これらの活動を通して、生徒は相手を思いやることの大切さ、誰もが過ごしやすい社会をつくっていくことの大切さなどについて考えることができた。

(2) 活動時間について（下記から選択して下さい。）

- 通常の授業時間を使用（総合的な学習の時間を含む）
- 時間外活動の時間を使用
- ユネスコクラブの活動として実施
- その他（

）